

3. 風水害等に備えて

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意をする。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持ち出し品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を最低でも3日分、できれば1週間分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動させる。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、
注意しましょう！



竜巻

竜巻とはこのような現象です

- 竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです。
- ろうと状や柱状の雲を伴っています。
- 台風、寒冷前線、低気圧などに伴って発生します。
- 短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします。
被害は、長さ数km、幅数十～数百mの狭い範囲に集中します。
- 移動スピードが非常に速い場合があります。
過去に発生した竜巻の中には、時速約90km(秒速25m)で移動したものもあります。



竜巻の発生時に、よく現れる特徴

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

速やかに情報を把握するために

- テレビやラジオの気象情報や町からの防災無線などで提供される防災情報に注意してください！

雪害

家庭の雪対策

- 物流の混乱に備え、水・食料などの備蓄をする。(できれば7日分)
- 停電に備えて、暖房対策(使い捨てカイロなど)、予備電池、懐中電灯、携帯ラジオなどを用意する。
- 断水に備えて、水をためておく。
- 積雪・凍結に備え、通路や階段など滑りやすい場所に凍結防止剤などを事前散布する。
- スコップ、凍結防止剤などの除雪用具を用意する。
- 不要不急の外出は極力控える。どうしても外出する場合は、平常時の3倍の時間がかかると思って、ゆとりをもって出掛ける。
- 早期除雪は自助と共助(隣近所の人たち)で力を合わせて行う。



凍結や滑りやすい場所～こんなところにも注意！

●日陰の坂道、日陰の歩道

●橋、歩道橋、階段

●マンホール

●人通りの少ない裏通り

●雪よせ路肩と歩道の間

●車庫、自転車置き場

など